

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【公表番号】特表2008-546916(P2008-546916A)
 【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)
 【年通号数】公開・登録公報2008-051
 【出願番号】特願2008-516279(P2008-516279)
 【国際特許分類】

D 0 6 L 3/12 (2006.01)
 D 0 6 L 3/16 (2006.01)
 C 0 9 B 57/00 (2006.01)
 C 1 1 D 3/40 (2006.01)
 C 1 1 D 3/37 (2006.01)
 C 0 7 D 251/70 (2006.01)

【 F I 】

D 0 6 L 3/12
 D 0 6 L 3/16
 C 0 9 B 57/00 C S P Y
 C 1 1 D 3/40
 C 1 1 D 3/37
 C 0 7 D 251/70 F

【手続補正書】
 【提出日】平成21年6月4日(2009.6.4)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

合成の、単一又はブレンドされた織布を増白するための洗濯方法であって、

a) 遊離の蛍光増白剤をカチオン性ポリマーと接触させることにより組成物を製造すること、及び

b) 前記合成の、単一又はブレンドされた織布を、a)段階において製造した組成物を用いて処理すること、

を特徴とする、洗濯方法。

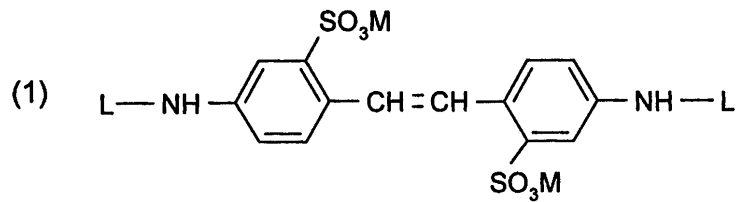
【請求項2】

カチオン性ポリマー及び遊離の蛍光増白剤及び所望により水を含む、合成の、単一又はブレンドされた織布、とりわけポリエステル又はポリアミド製の織布、或いは、ポリエステル又はポリアミドがブレンドされた織布のための増白剤。

【請求項3】

前記遊離の蛍光増白剤は、式(1)

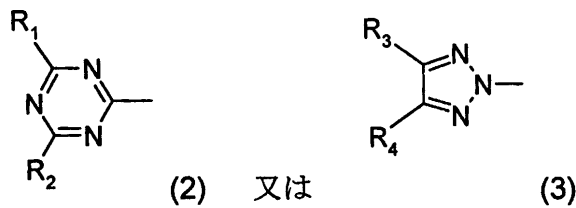
【化 1】



[式中、

L は、式 (2) 又は (3)

【化 2】



(式中、

R_1 及び R_2 は、互いに独立して、置換されているか又は未置換のアリールオキシ基；又は飽和の又は不飽和の、中断されているか又は中断されていない、置換されているか又は未置換の脂肪族基、脂環式基、脂環式基又は脂肪族アルコキシ基又はアラルキルオキシ基を表し；又はヒドロキシ基又は塩化物基を表し；又は置換されているか又は未置換のアミン基を表し；及び

R_3 及び R_4 は、互いに独立して、水素原子又は置換されているか又は未置換の、枝分れ状の、枝分れしていない、中断されているか又は中断されていないアルキル基又は置換されているか又は未置換の炭素環式基又はヘテロ環式アリール基を表す。) で表される基を表し、及び

M はカチオンを表す。]

で表される化合物である、請求項 2 に記載の増白剤。

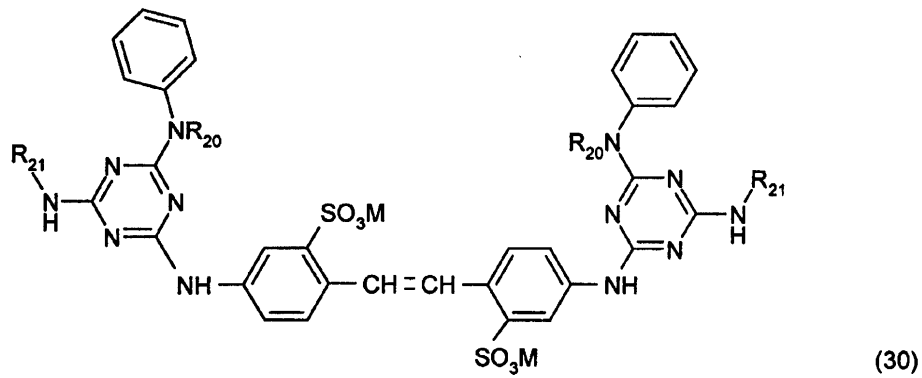
【請求項 4】

合成の織布、単一又はブレンドされた織布、とりわけポリエステル又はポリアミド製の織布、或いはポリエステル又はポリアミドがブレンドされた織布を増白するための、請求項 2 又は 3 に定義された蛍光増白剤を含む洗剤組成物。

【請求項 5】

合成の織布、単一又はブレンドされた織布、とりわけポリエステル又はポリアミド製の織布、或いはポリエステル又はポリアミドがブレンドされた織布を増白するための、式 (30)

【化 3】



(式中、

R₂₀は、水素原子、又は置換されているか又は未置換のアリール基、アラルキル基又はN - アリール - アラルキル基を表し；及び

R₂₁は、置換されているか、未置換の、飽和の又は不飽和の、枝分れ状の、枝分れしていない、中断されているか又は中断されていない炭素原子数6ないし40のアルキル基、炭素原子数6ないし40のアルキレン基、炭素原子数1ないし6のジアルキル基、炭素原子数1ないし6のジアルキレン基；置換されているか又は未置換のアラルキル基を表し；及び

Mはカチオンを表す。）

で表される蛍光増白剤及びカチオン性ポリマーを含む洗剤組成物。